



【特集】 若者の手仕事から子ども達へ 「おおいたの木製学校給食器」を届けます

自然を大切にするまち「ゆふいん」。その自然やまち・人々に囲まれながら木製給食器づくりにチャレンジしています。

人材育成ゆふいん財団・くぬぎの学校では「おおいたの木製学校給食器」づくりに取り組んでいます。3人の若い木工芸職人が、木製給食器の製作活動やその普及に日々チャレンジしています。

大分県の木材をものづくりに活かしていきます。「木」の豊かさを伝えたい。

木に触れることで、子ども達の五感を刺激することができます。木製食器は、普段とは少し違う「木」や「食」の豊かさ、楽しさを与え、その大切さを子ども達に伝えることができます。それは「木育」や「食育」ということについて考える“きっかけ”となるでしょう。

気持ちを込めた手仕事を子ども達に届けていきたいと思ひます。

子ども達の手におさまる、優しい木のお椀をイメージしながら作っています。小さな枝も、少し手を加えると立派な木の箸置きにかわっていきます。私たちは木に対する感謝の気持ちをカタチにし、その気持ちを込めた手仕事を子ども達に届けていきたいと思ひます。



INFORMATION —平成25年度事業収支決算報告—

事業収支決算のとりまとめが行われました。平成25年度は国際交流事業の運営方式の変更を行い、外部委託を廃止しました。協働・連携する団体を増やしながらか自主運営を行うことにより、支出の枠組みを再編成して支出経費の縮減に努めました。予算額も含め、来年度以降にその効果が出てくる予定です。一方、緊急雇用事業・くぬぎの学校の関連支出の増加があり、決算額は大幅な

赤字となりました。平成26年度は緊急雇用事業の業務委託費を得ながら、健全な運営と収益回復に努めていきます。

今後も財産の運用や事業推進を工夫し、事業内容を充実させていきたいと思ひます。ご寄附をいただいた方々の賛同が得られるように、また寄附文化の誘発、醸成に努めていきたいと思ひます。質問・ご要望等がございましたら、財団事務局までお問い合わせください。

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

科目	予算額	決算額	差額	備考	
1 事業活動収支の部					
1) 事業活動収入					
①基本財産運用益	365,500	251,594	△113,906	H24年度預託金の利息収入	
②賛助会・会費収入	800,000	68,000	△732,000	団体会員4口、個人会員28口	
③事業収益	120,000	802,112	682,112	H25年度広告支援	
④受取補助金等	0	168,143	168,143	緊急雇用事業(26年3月分)	
⑤受取負担金	180,000	291,000	111,000		
国際交流事業	180,000	207,000	27,000	子ども使節団参加費¥15,000×12名、歓迎会など	
ふれあい学習事業	0	30,000	30,000		
その他負担金	0	54,000	54,000	企画委員会負担金など	
⑥受取寄附金	500,000	168,000	△332,000	平成25年度一般寄附金受取分を充当	
一般寄附金	500,000	168,000	△332,000		
⑦雑収益	2,000	1,950	△50	受取利息、還付金等	
事業活動収入計(A)	1,967,500	1,750,799	△216,701		
2) 事業活動支出					
①事業費支出	3,619,000	4,139,893	520,893		
会議費	200,000	583,834	383,834	歓迎会など国際交流関連費	
旅費交通費	42,000	881,882	839,882	子ども使節団旅費など	
通信運搬費	400,000	312,613	△87,387		
消耗品費	190,000	571,096	381,096		
修繕費	0	18,280	18,280	くぬぎの学校木工所の修繕費	
印刷製本費	850,000	338,125	△511,875	財団ニュース印刷費など	
光熱水料費	0	275,068	275,068	木工所の動力電力、普通電力	
賃借費	200,000	852,740	652,740	事務局・木工所・交流室使用料	
保険料	12,000	62,360	50,360	海外旅行保険・イベント保険	
諸謝金	65,000	210,000	145,000	面接官、水原市交流対応、税理士謝金等	
租税公課	0	11,200	11,200	委託契約書など収入印紙代	
支払助成金	300,000	0	△300,000	直接経費として支出する科目	
支払寄附金	0	0	0	25年度採択はなし	
委託費	1,300,000	0	△1,300,000	旅行管理業務の外部委託は廃止。自主運営で費用を再編。	
雑費	60,000	22,695	△37,305		
②管理費支出	3,240,000	5,279,947	2,039,947		
役員報酬	0	0	0	報酬はなし	
給料手当	2,500,000	4,472,200	1,972,200	職員2名(3月より2名追加)	
臨時雇賃金	350,000	238,875	△111,125	事務局残業費	
福利厚生費	390,000	568,872	178,872	社会保険、労働保険	
事業活動支出計(B)	6,859,000	9,419,840	2,560,840		
2. 基金振替の部					
基金振替収入(C)	特別寄附金振替	4,000,000	4,000,000	0	理事会による議決による振替
事業収支差額	(A-B)	△4,891,500	△7,669,041	△2,777,541	
当期収支差額	(A-B+C)	△891,500	△3,669,041	△2,777,541	



知らなくても良い事なんて何も無い

第17回 ゆふいん文化・記録映画祭

実行委員長 清水聡二

あるお母さんが言っていた。

「差別や虐待などの人間の不幸で醜い過去は、知らない方が良い事だってある。無理に教えることで、かえって差別意識や暴力的な意識を、子どもたちに植え付けることになりはしないか」と。

確かに知らない方が幸せなことだってあるかもしれない。隣人との遠い過去の不幸な関係を知って、気まずくなることだってあるかもしれない。

ゆふいんTOPIC

第17回

ゆふいん文化・記録映画祭

でも、知らないということは何も考えないということだと思ふ。過去を払拭して、今から未来のことだけ考えるなんてことが、人間には可能なのだろうか？

知ることは苦しみになることもあるが、いずれは考え、苦悩して乗り越える時が必ず来る。また知ることで喜びや楽しみが増してくることがある。

そんな苦悩や楽しみがいっぱい詰まった第17回ゆふいん文化・記録映画祭になることを願っている。

第17回
ゆふいん文化・記録映画祭
第7回 松川賞

2014年
6月27日(金) - 29日(日)

映画上映：湯布院公民館
懇親会：乙丸公民館劇場

知らなくても良い事なんて何も無い

第17回
ゆふいん文化・記録映画祭
2014.6.27.~29.

第7回「松川賞」

前夜祭

6/27(金)	19:00~20:30 『再起の一滴 〜桶狭高生 老練隊1000日の記録〜』 『むしる廻 〜風の港のしょう油づくり』 『杜氏たちの春』	20:30~ (前夜祭・懇親会)
6/28(土)	10:00~12:00 『オイシシをつくる 〜養豚の魅力〜』 『特別生乳はなぜ良いのか?』 『チーズ その魅力とロマン』	12:40~14:20 『記録映画の保存と活用を考える vol.2』
6/29(日)	10:00~12:20 『野村正昭さんと語る ドキュメンタリー映画』 『時が乱吹く』 『母たち』	13:00~15:00 『福島・生きものの記録 シリーズ1〜爆撃〜』
6/27(金)	17:50~20:20 『ある精肉店ののはなし』	18:10~20:10 『オカミの遺行 〜里ごとと山のあわいに〜』
6/28(土)	15:00~17:00 第7回「松川賞」 受賞作品 表彰式・シンポジウム	15:30~17:30 『祭の馬』
6/29(日)	15:30~17:30 『祭の馬』	20:20~ (打ち上げ・お名残懇親会)

◆入場料◆

1プログラム券
(前席)500円 (当日)700円
(小・中学生 500円 ※並列のみ)

フリーパス券 3,500円
(全プログラムに有効)

※チケットの手荷・購入は、下記の手続き係へお申し込みください。
※電話・FAX・メールでお申し込みいただきましたら、当日会場受付にてお引き渡し致します。
※また白布院観光総合事務所、JR 庄布院駅 管内観光案内所でも販売しています。

◆ご案内◆

・プログラムDの上映時間は、受賞作品の時間により変更場合があります。
・上映会場(湯布院公民館)の駐車場はご利用できません。お近くの私営有料駐車場をご利用ください。

◆お問合せ◆

「ゆふいん文化・記録映画祭/松川賞」
実行委員会 事務局
〒879-5102 大分県由布市湯布院 2863 世地
問合せ・申込み先:
TEL/FAX 0977-84-4424
メールでもお申込みできます。
yufuinbunkakiroku@forest.ocn.ne.jp
HPは「ゆふいん文化・記録映画祭」で検索!
URL http://move.geocities.jp/mcyufuin/home.html

◆映画祭期間中の事務局◆
(〒856-27-29 会津若狭市)
TEL 0977-84-4762

プログラム D 6/28(土)15:00~

宮戸復興の記録 2011~2013
2014年/58分/構成・演出：飯塚俊男
制作：アムール/製作・著作：宮戸・野蒜
地域の文化遺産の再生・活用検討実行委員会

日本三景の一つ宮城県松島の中で最も大きな島、宮戸島。島では国の重要無形民俗文化財に指定されている小正月の鳥追い行事「月浜のえんずのわり」が何百年と続けられてきていた。2011年3月11日、島は東日本大震災に見舞われ甚大な被害を被り、集落は失われたが、お互いに声をかけ合って避難し一人の死者を出す事無く高台に避難した。その後、集団での避難所生活が始まり集落の暮らしは一変した。



映画は、文化庁の映像記録保存事業として記録撮影していた震災前の集落の様子や「えんずのわり」の記録から、震災後に集落がどのように復興していくのか、縄文時代の人々の知恵がいかに津波に対応していたかといった実証を加えながら、地域に密着した視点で丁寧に記録、取材した。

第7回「松川賞」入賞作品

調律師とピアニスト
2014年/60分/
監督・撮影・編集：上田謙太郎



ピアノ調律師・上野泰永と、新進気鋭の若手ピアニスト・内藤晃。内藤の母校である東京外国語大学に、新しいホール「アゴラ・グローバル」が完成した。その開館に合わせ、新品のピアノ「YAMAHA S6B」が導入された。新品のピアノが初めて調律され、演奏されるまでの2日間を見つめたドキュメンタリー。ホールに響く鍵盤を叩く音、美しくも複雑なピアノ内部、微妙で繊細な音を聞き分ける調律師の真剣な眼差し…。ナレーションを一切排して、淡々と撮り続けた映像の中にも、怪我を負った調律師とそれを心配するピアニストとの心の交流が優しく浮かびあがる。

2次募集

第13回 ゆふいん～アジア ふれあい交流子ども使節団 「日韓交流の旅」韓国・水原市派遣団員 第2次募集!

後援：由布市/由布市教育委員会

ゆふいん～アジアふれあい交流子ども使節団は、ゆふいんの子も達が海外へ足を運び、現地学生との交流や異文化にふれあう事業です。訪問地は韓国・水原市。1月に湯布院を訪れた水原市青少年育成財団の子もたちと、さらに交流を深めながら、貴重な体験やホームステイをしています。

1次募集では6名のメンバーが選考されました。定員の残り6名のメンバーを2次募集します。高校生も積極的なご応募をお待ちしています!興味のある方はどうぞお気軽に財団事務局(0977-85-4748)までご連絡下さい。

募集人数：6名 応募締切：7月2日(水)

応募方法

参加資格

湯布院地域内在住の心身ともに健康な子ども

○中学生(1年生～3年生)

○高校生(高校生の定員は最大3名です)

求む!高校生のリーダーシップ!



応募方法

○所定の応募用紙に必要事項を記入してください。応募用紙は、湯布院中学校から配布しております。高校生の方は財団事務局までご連絡いただくか、ホームページからダウンロードして下さい。

○自己PRとして今一番自信を持っていること、もしくは国際交流に参加したい理由などを書いてください。また、文章を書くより絵を描く方が好きな人!好きな絵を別紙、画用紙等に描いてご応募ください。

○後日、選考委員による面接が行われます。(面接選考により、6名を決定します)

参加費用

個人負担額 15,000円

※パスポート申請費用等は個人負担となります。ご了承ください。(収入印紙代として、11,000円かかります)

※交通費・宿泊費・食事代など基本的な費用の約7割を財団が負担します。



今後の予定

旅行日程

8月7日(木) 韓国・水原市の文化に触れ学ぶ日
8月8日(金)・9日(土) 水原市 心の交流を体験する日
8月10日(日) 韓国・水原市を楽しみ、振り返る日

準備等の予定

7月2日(水) 応募締め切り
7月5日(土) 面接選考会
7月7日(月) 合否連絡

※部活動や塾のスケジュールにも配慮した日程調整や個別対応を行います。子ども達の普段の生活を重視して準備を進めていきたいと思っております。

人材育成ゆふいん財団 掲示板

(1) 一般寄附金としてご寄付をいただきました。
・匿名を希望(町内在住)

10,000円

温かいご厚意ありがとうございました。公益目的事業1の推進、充実に有意義に活用させていただきます。

公益目的事業1

市民の0歳から100歳までの学びを奨励、援助する事業

公益目的事業2

市民の実践活動の促進を援助する事業

編集後記

決算のとりまとめが終了し、ホッとひと安心しました。1円単位までしっかりと正確に報告することが、公益法人としてのゆふいん財団の信頼につながるのではないかと考えます。消費税8%の導入がはじまり、この「1円単位」というものが益々細かくなったことを実感します。社会保障など、未来につながるこの「1円単位」の税金を価値あるモノ・コトに使っていただきたいと願います。(事務局・大澤直彦)

[人材育成ゆふいん財団事務局]
住所/湯布院町川上2863
TEL/85-4748 FAX/85-4759
E-mail: info@yufuin-zaidan.jp
H.P: http://www.yufuin-zaidan.jp

[発行日] 2014年6月6日
[発行] 公益財団法人人材育成ゆふいん財団
[発行人] 溝口薫平
[編集責任者] 霜野圭一
[編集] 人材育成ゆふいん財団企画委員会

みらいしんきんは人材育成ゆふいん財団の市民の実践活動への情報・ネットワーク事業を応援します



みらい信用金庫

URL <http://www.oitamirai.co.jp/>